



ひきこもり等子ども・若者相談支援センター  
枚方市子ども・若者支援地域協議会  
平成30年度の活動報告



枚方市子ども青少年部子ども総合相談センター

となとな



# 目 次

【1】 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	
1. 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	1 p
2. 場所	1 p
3. 相談体制	1 p
4. 相談件数	2 p
5. 居場所	7 p
6. 家族の会	8 p
【2】 市民啓発等	
1. 子ども・若者支援のための市民連続講座	9 p
2. 職員による出前講座等	10 p
3. リーフレットの作成	10 p
【3】 枚方市子ども・若者支援地域協議会	
1. 平成30年度の活動状況	11 p
2. 会議の実施状況	14 p
[資料1]	「ひらぼう」第21報～第26報
[資料2]	「子ども・若者支援のための市民連続講座」チラシ
[資料3]	「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」リーフレット
[資料4]	「枚方市子ども・若者支援地域協議会設置要綱」

## 【1】枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

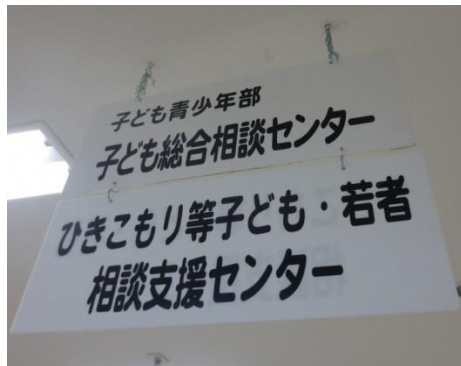
### 1. 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

枚方市では、平成25年4月に「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」を設置し、15歳からおおむね39歳までの不登校、ひきこもり、ニート等に関する相談を受けし、継続して対応方法や支援を考えています。必要に応じて、より適した支援機関等にもおつながります。次のステップとしての居場所支援や、家族の会を行っています。

### 2. 場所

枚方市子ども総合相談センター・となとに専用の窓口を設置しています。専用の相談室が2部屋あります。

住所：〒573-0032 枚方市岡東町12-3-410 サンプラザ3号館4階



### 3. 相談体制

相談には、電話相談と面接相談があります（専用電話設置）。面接相談は事前に予約をお願いしています。

窓口には、臨床心理士や社会福祉士等の資格を有する職員を配置し、関係機関と連携しながら対応しています。

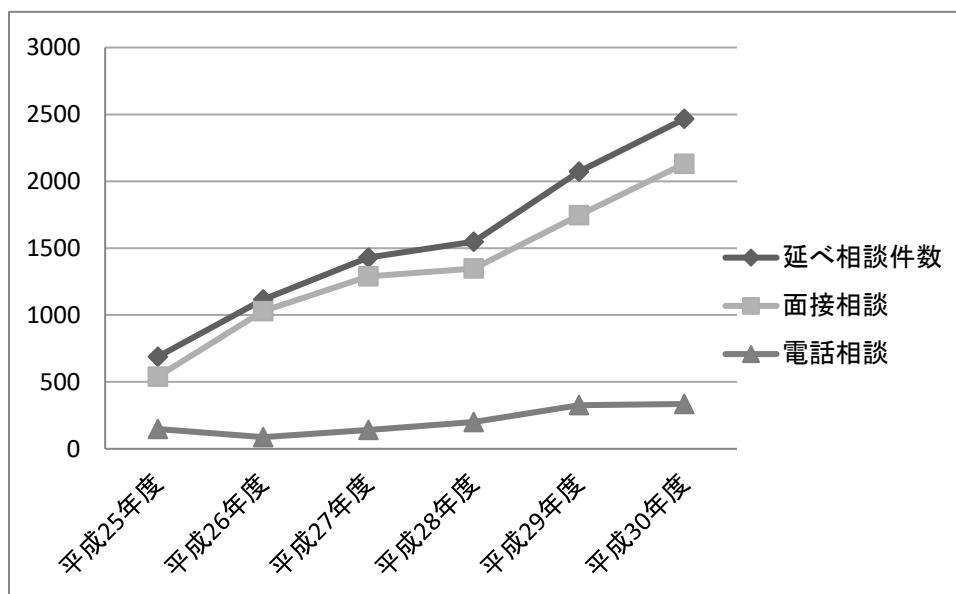
また、職員のスキルアップのため、外部講師より助言をもらうスーパービジョンを実施したり、各種研修にも参加しました。

## 4. 相談件数

平成 30 年度の延べ相談件数は、2,466 件でした。内訳は面接相談が 2,131 件、電話相談が 335 件でした。

	平成 25 年 度	平成 26 年 度	平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度
面接相談	540	1,029	1,289	1,348	1,746	2,131
電話相談	148	87	141	200	326	335
計 (件)	688	1,116	1,430	1,548	2,072	2,466

相談件数の推移



また、平成 30 年度の実相談ケース数が 247 件、そのうち新規相談が 122 件でした。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
新規相談 (件)	200	123	116	92	136	122

平成 30 年度の実相談ケース 247 件のうち、30 年度に支援終了したケースが 94 件、次年度以降継続のケースが 153 件でした。

終了したものの内訳は、一回もしくは数回の相談にて適切な支援機関につないだり、対応方法について助言を行ったものが 53 件、継続支援ののち終了したものが 33 件、来談が途絶えたものが 8 件でした。来談が途絶えたり、前回の相談から期間が空いていたりするものについては、相談者の状況に応じて、講座等の情報提供を行いました。

○訪問支援

継続相談の中で、必要に応じて訪問支援を行いました。自宅へ伺う家庭訪問が68件、ご本人やご家族と一緒に各窓口に同行する同行訪問は22件でした。

(同行訪問先)

障害福祉関係、自立相談支援センター、医療機関など(多かった順に抜粋)。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
家庭訪問	22	40	53	49	61	68
同行訪問	11	18	25	22	26	22
計(件)	33	58	78	71	87	90

○機関連携

ご本人やご家族の了承のもと、他機関に紹介するための事前連絡や、状況の共有、支援のための協議など、機関との連携を行いました。

(連携機関)

地域若者サポートステーション、自立相談支援センター、障害福祉関係、医療機関、コミュニティソーシャルワーカー、保健所、その他市役所窓口(多かった順に抜粋)。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
機関連携(件)	52	185	193

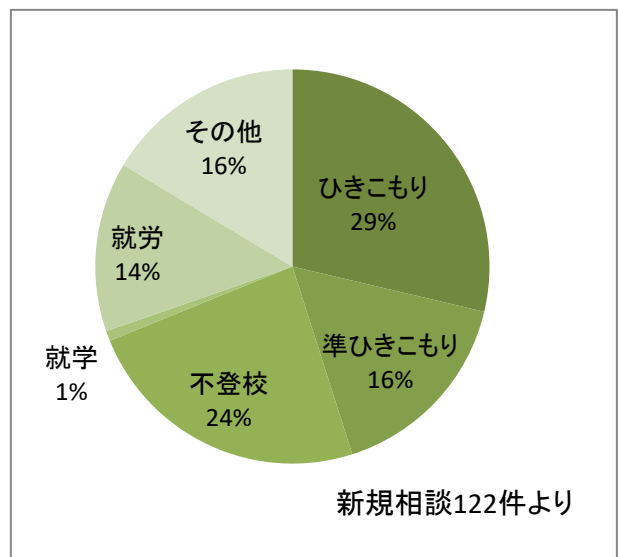
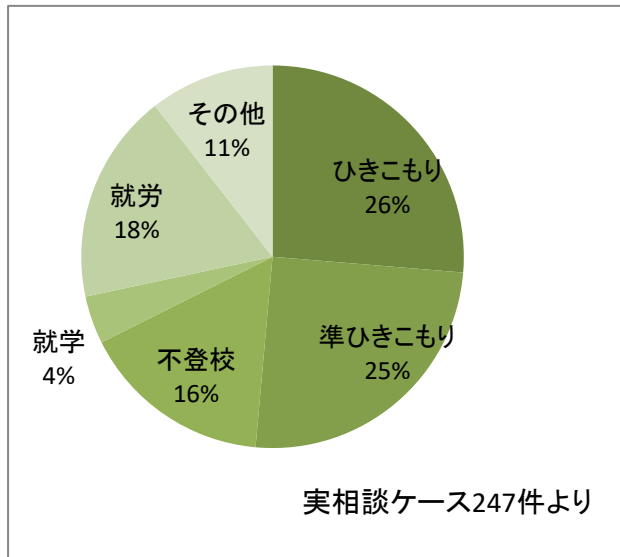
○相談内容

相談内容は、ひきこもりと準ひきこもりについての相談が合わせて51%、次に就労についての相談が18%、不登校の相談が16%でした。

そのうち、新規相談の相談内容の内訳については、ひきこもりと準ひきこもりについての相談が合わせて45%、不登校の相談が24%でした。

ひきこもり 自室からほとんど出ない、自室からは出るが家から出ない。  
 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける。

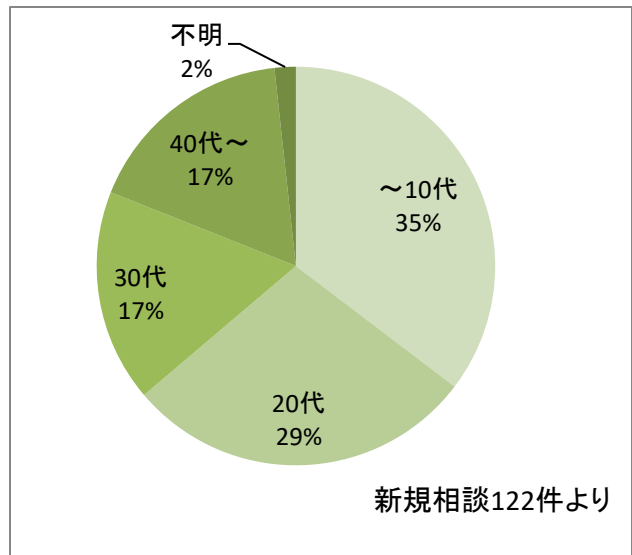
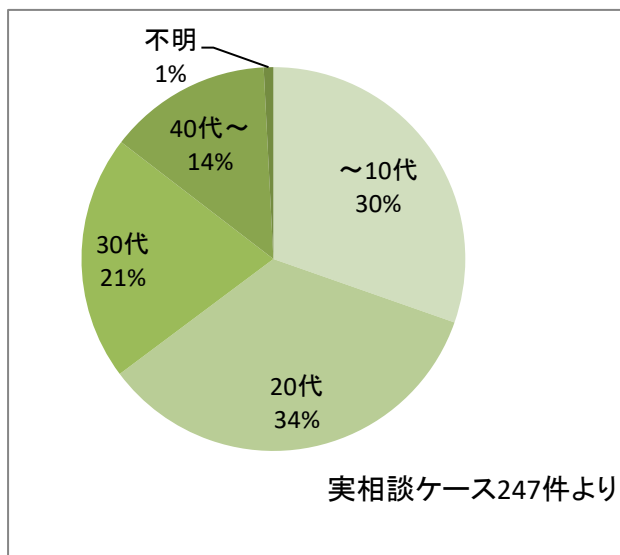
準ひきこもり ふだんは家にいるが自分の趣味に関する用事の時だけ外出する。



○相談対象者の年代

相談対象者の年代は、20代の相談が34%と一番多く、次に10代の相談が30%と続きます。また、一定数、40代以上の方の相談もあるという現状です。

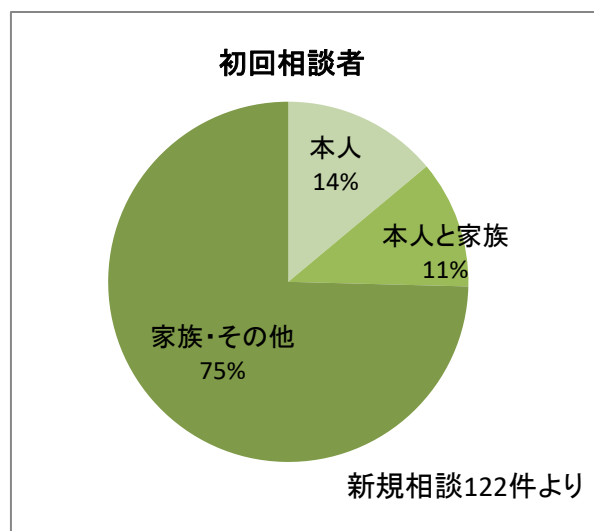
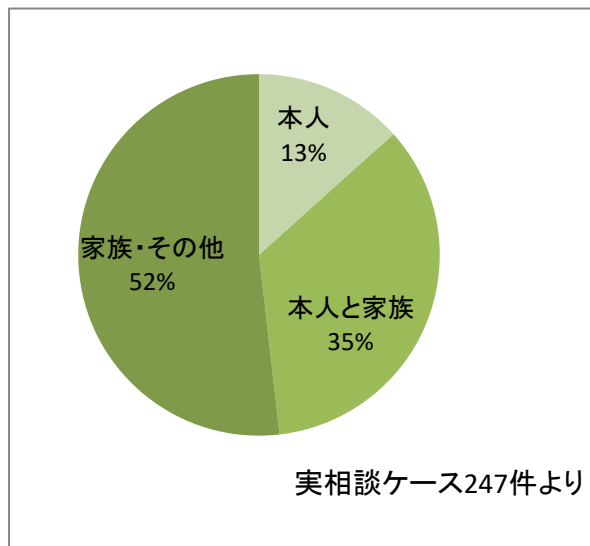
そのうち、新規相談の内訳については、10代の相談が一番多く、続いて、20代となっています。



○相談者

相談者については、本人、もしくは本人と家族から相談をお受けしているケースがあわせて、48%、家族もしくは関係者等からのご相談が 52%でした。

そのうち、新規相談の初回相談者については、本人、もしくは本人と家族からの相談が 25%、家族もしくは関係者等からの相談が 75%でした。初回相談の多くは、家族からの相談でした。



○性別

新規相談の相談対象者の性別については、男性が 71.3%、女性が 27.9%でした。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
男性	145 (72.5%)	89 (72.4%)	79 (68.1%)	50 (54.2%)	102 (75%)	87 (71.3%)
女性	47 (23.5%)	30 (24.4%)	36 (31%)	39 (42.4%)	30 (22.1%)	34 (27.9%)
不明	8 (4%)	4 (3.3%)	1 (0.9%)	3 (3.3%)	4 (2.9%)	1 (0.8%)
計(件)	200	123	116	92	136	122

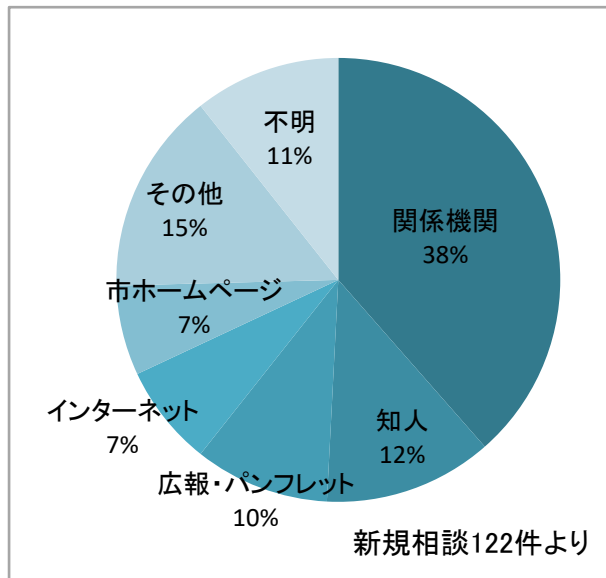
(新規相談 122 件より)

○相談経路

ひきこもり等子ども・若者相談支援センターを知ったきっかけは、関係機関からの紹介が38%と一番多く、次いで、知人からの紹介、広報・パンフレットとなっています。

(関係機関)

学校、市役所の各窓口、地域若者サポートステーションなど（多かった順に抜粋）。



○居住地

対象は市内在住の方ですが、市外からの相談もありました。一旦お聴きして、他市で利用できる相談窓口の情報提供を行っています。

市内	市外	不明	計（件）
104 (85.2%)	15 (12.3%)	3 (2.5%)	122



## 5. 居場所支援

ひきこもり等の子ども・若者が社会に参加するきっかけとなるスモールステップとして、居場所が必要で、平成 26 年度より枚方公園青少年センター等を活用し、居場所支援事業「ひらぼ」を実施しています。相談員との個別面接の次のステップとして4、5人の若者がスタッフと一緒にさまざまな活動を体験する中で、社会とのつながりを築いていくことを目指しています。実際の活動においては、専門のコーディネーターを配置し、「サポートフレンド養成講座」を受講したサポートフレンド（登録者 22 名）の協力を得て、料理やゲーム、スポーツ、外出イベントなどの活動を行いました。また、ウィルフエスタにも初参加し、居場所支援「ひらぼ」のブースを出しました。「ひらぼ」参加者はウィルフエスタにむけて、出品するリース作りなど準備をしたり、当日に、来場者に対応するなどの役割を担い、これまでにない経験となりました。

さらに、居場所支援事業「ひらぼ」の活動を中心に、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組みを広報する通信「ひらぼう」[資料 1] を 30 年度も 2 ヶ月に 1 回発行しました。平成 30 年度の 10 月作成の通信からは、居場所支援事業「ひらぼ」に参加する若者が記事を企画、執筆するなど、作成に参加しました。

居場所支援と並行して、個別の面接相談も継続し、ひとりひとりに合った支援を行っています。

平成 30 年度は、毎週水曜日と、他の曜日に月 2、3 回開催し、計 90 回、参加延べ人数は 420 人でした（実人数 19 人／平成 29 年度は 20 人、平成 28 年度は 24 人、平成 27 年度は 17 人、平成 26 年度は 7 人）。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所回数	7	8	6	8	8	8	9	8	7	6	7	8	90 回
参加延べ人数	34	41	25	24	33	34	42	46	32	31	41	37	420 人

また居場所支援に携わるサポートフレンドを対象に、研修会を実施したほか、市民連続講座など、子ども・若者にかかわる研修をフォローアップ研修としました。

## 6. 家族の会

月に一回、相談支援センターの相談者を対象に同じ悩みを持つ家族の相互理解や交流を目的として、家族の会を開催しました。

平成30年度は実施が11回、参加延べ人数は54人でした。

### テーマ

---

4月	ひきこもり等子ども・若者相談支援センターは、こんなことしています
5月	おいしく食べよう！ 調理実習その①
6月	みんなで手芸① -カラフルアクリルたわし作り-
7月	サポートステーションは、こんなことをしています【北河内地域若者サポートステーション】
9月	おいしく食べよう！ 調理実習その②
10月	上手に伝えるコツ -アサーションを学ぶ-
11月	みんなで手芸② -クリスマスリース作り-
12月	紹介しよう！ 参考になった本
1月	精神疾患の基礎知識【枚方市保健所】
2月	墨彩画にチャレンジ！
3月	生活を支えるお金のこと-年金や生活保護について-【年金児童手当課・生活福祉室】

---

開催日時は毎月第2金曜日午後2時から4時

8月は休み

## 【2】市民啓発等

### 1. 子ども・若者支援のための市民連続講座

—ひとりひとりが自分らしく—

[資料2]

ひきこもりや不登校、ニート等、若者が置かれている現状と、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターについて、市民により広く、深く知っていただくために連続講座を開催しました。4回実施し、延べ188名の参加をいただきました。

#### 【第1回】

日時：平成30年10月13日(土) 14:00～16:00

場所：枚方市立総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ：寮生活を通して見えてくるひきこもり支援

—本日の若者「雨時々曇り一時晴れ」—

講師：小林 将元さん（特定非営利活動法人クラウドナイン理事長）

参加者：40人



#### 【第2回】

日時：平成30年10月20日(土) 14:00～16:00

場所：枚方市立総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ：不登校や発達障害への具体的アプローチ

—子どもたちが動き出すまでのサポート—

講師：伊藤 伸孝さん（あおい教育支援グループ代表）

参加者：52人



#### 【第3回】

日時：平成30年11月10日(土) 14:00～16:00

場所：枚方市立総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ：ひきこもりの子を持つ家族の生活設計

講師：畠中 雅子さん（ファイナンシャルプランナー）

参加者：55人



#### 【第4回】

日時：平成30年11月30日(金) 14:00～16:00

場所：枚方市立総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ：家族に伝えたいこと、知って欲しいこと

—ひきこもりの若者も家族も孤立しないために—

講師：大橋 史信さん（ひきこもりピアサポーター）

参加者：41人



## 2. 職員による出前講座等

生涯学習課で実施している「職員による出前講座」に「若者の置かれている現状－ひきこもり・ニートを中心に」「青年期の心模様」の2つをメニューとして上げています。平成30年度は、1件の申し込みがあり実施しました。また、市民や支援者を対象とした団体等から依頼もあり、市の取り組みの報告や講座を実施しました。

### ①心の保健ゼミナール

団体名：枚方市社会福祉協議会

日時：平成30年8月22日

場所：総合福祉会館（ラポールひらかた）

テーマ：ひきこもり状態にある若者の支援－ひとりひとりが自分らしく－

対象者：市民

### ②第23回登校拒否・不登校問題 全国のつどいin大阪

団体名：登校拒否・不登校問題全国連絡会

日時：平成30年8月26日

場所：エルおおさか（大阪府立労働センター）

テーマ：分科会「青年が安心して集まり交流できる「場」とは？」

### ③職員による出前講座「なんでも、どこでも出前塾」

団体名：民生委員児童委員菅原地区委員会

日時：平成30年12月20日

場所：菅原生涯学習市民センター

テーマ：若者の置かれている現状－ひきこもり・ニートを中心に－

対象：民生委員児童委員48名

## 3. リーフレットの作成

○ひきこもり等子ども・若者相談支援センターリーフレット [資料3]

相談支援センターの内容を説明した、三つ折のリーフレットを増刷し、5000部作成しました。リーフレットでは、相談、居場所、家族の会の3つの支援をわかりやすく説明しています。

### 【3】枚方市子ども・若者支援地域協議会の取り組み

#### 1. 平成30年度の活動状況

[資料4]

ひきこもりやニート、不登校などの相談機関・関係機関のネットワーク構築のため、平成24年6月より枚方市内で活動している各関係機関に呼びかけて、枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議を設置しました。平成30年3月には、同ネットワーク会議を、子ども・若者育成支援推進法に基づく「枚方市子ども・若者支援地域協議会」に改編し、同協議会の実務者会議のひとつと位置づけ、各機関等が顔の見える関係を築くとともに、さまざまな状況のひきこもり等の子ども・若者に対し、切れ目のない適切な支援が行える体制作りをめざしています。

平成30年度は、代表者会議を実施し、大阪府青少年課より、「子ども・若者に対する支援の仕組みづくり」についてお話しいただき、実務者会議の活動報告を行いました。

また、奇数月に実務者会議の世話人会議を実施し、次の全体会議のテーマや今後の方向性を検討し、偶数月に実務者会議の全体会議を開催しました。平成30年度は、「中学校、高等学校卒業後の切れ目ない支援」や、「枚方市内の就労相談窓口」をテーマに開催しました。

相談支援について学びあうことを目的に事例検討会（ケースカンファレンス）も実施し、（特非）クラウドナイン理事長小林氏にアドバイザーとして参加していただき、活発な意見交流が行われました。

また、実務者会議に、大阪府中小企業家同友会・枚方寝屋川交野支部や地域の訪問看護ステーションが新たに参画され、更なるネットワークの広がりがありました。

#### ○平成30年度枚方市子ども・若者支援地域協議会 代表者会議

実施日	内 容
1月28日	・各機関紹介 ・全体研修 「子ども・若者に対する支援の仕組みづくりについて」 大阪府 政策企画部 青少年・地域安全室 青少年課 健全育成グループより ・報告 枚方市子ども・若者支援地域協議会 実務者会議 平成30年度の取り組み

#### 【代表者会議 構成機関】

- ・枚方市産業文化部商工振興課
- ・枚方市保健所保健予防課
- ・枚方市保健所保健センター
- ・枚方市福祉部福祉総務課
- ・枚方市福祉部生活福祉室
- ・枚方市福祉部障害福祉室
- ・枚方市子ども青少年部子ども青少年政策課
- ・枚方市子ども青少年部子ども総合相談センター
- ・枚方市教育委員会事務局学校教育部児童生徒支援室

- ・ 枚方公共職業安定所
  - ・ 大阪府中央子ども家庭センター相談対応第二課
  - ・ 独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
  - ・ 一般社団法人枚方市医師会
  - ・ 枚方市民生委員児童委員協議会
  - ・ 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
  - ・ 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会
- 《要綱第3条17号》より
- ・ 枚方・交野地区保護司会
  - ・ 枚方市青少年育成指導員連絡協議会
  - ・ 枚方警察署 生活安全課
  - ・ 交野警察署 生活安全課
- ・ 子ども総合相談センター（子ども・若者・ひとり親相談担当）【事務局】

○平成30年度枚方市子ども・若者支援地域協議会 実務者会議  
（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）

実施日	内 容
第1回全体会議 4月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各機関の活動紹介</li> <li>・ 枚方市子ども・若者支援地域協議会について</li> <li>・ 今年度の予定</li> </ul>
第2回全体会議 6月21日	※大阪北部地震のため中止
第3回全体会議 8月23日	<p>「中学・高校卒業後、子どもたちに必要な支援がつながるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪府教育庁 教育センター 教育相談室より 「高校生の教育相談の実践について」</li> <li>・ 大手前高等学校 定時制の課程より 「高等学校での子どもの姿や支援の取り組みについて」</li> </ul>
第4回全体会議 10月18日	<p>「枚方市内の就労相談窓口について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハローワーク枚方</li> <li>・ 枚方市障害者就業・生活支援センター</li> <li>・ 北河内地域若者サポートステーション</li> <li>・ 枚方市地域就労支援センター</li> </ul>
第5回全体会議 12月20日	<p>「ケースカンファレンス」</p> <p>事例提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども総合相談センター・となとな</li> <li>ひきこもり等子ども・若者相談支援センター</li> </ul> <p>アドバイザー：(特非)クラウドナイン事理長 小林将元 氏</p>
第6回全体会議 2月21日	<p>「家族や若者が支え合える場～家族会などの活動について～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会との意見交流</li> </ul>

※全体会議の前月に、次回の内容を検討する世話人会議を開催。

【実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）案内送付機関】

（31年3月時点、32機関・37窓口）

- ・ 枚方公共職業安定所（ハローワーク枚方）
- ・ 大阪府中央子ども家庭センター
- ・ 大阪精神医療センター
- ・ 枚方市民生委員児童委員協議会
- ・ NPO 法人枚方人権まちづくり協会
  - 枚方市地域就労支援センター
  - 枚方市いきいきネット相談支援センター
- ・ 枚方市社会福祉協議会
  - 枚方市いきいきネット相談支援センター
- ・ （一社）ステップフォワード
  - 北河内地域若者サポートステーション
  - 枚方市就労準備支援事業担当
- ・ 三島地域若者サポートステーション
- ・ OSAKA しごとフィールド（JOB カフェコーナー）
- ・ 枚方市障害者自立支援協議会幹事会
- ・ 枚方市障害者就業・生活支援センター
- ・ L I T A L I C O ワークス枚方
- ・ 訪問看護ステーション デューン京阪
- ・ （特活）ひらかた市民活動支援センター
- ・ 大阪府立寝屋川高等学校（定時制の課程）
- ・ 大阪府立大手前高等学校（定時制の課程）
- ・ 長尾谷高等学校
- ・ E C C 学園高等学校
- ・ 近畿情報高等専修学校
- ・ あおい教育支援グループ
- ・ 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会
- ・ （株）京阪毎日舎
- ・ 大阪府中小企業家同友会・枚方寝屋川交野支部
- ・ 枚方市 産業文化部 商工振興課
- ・ 枚方市 健康部 保健所 保健予防課
- ・ 枚方市 健康部 保健所 保健センター
- ・ 枚方市 福祉部 生活福祉室
  - 自立支援担当
  - 困窮者支援担当（自立相談支援センター）
- ・ 枚方市 福祉部 障害福祉室
- ・ 枚方市 子ども青少年部 子ども青少年政策課
- ・ 枚方市 子ども青少年部 枚方公園青少年センター
- ・ 枚方市教育委員会 学校教育部 児童生徒支援室
- ・ 枚方市 子ども青少年部 子ども総合相談センター
  - 家庭児童相談担当
  - 子ども・若者・ひとり親相談担当（ひきこもり等子ども・若者相談支援センター）

【事務局】

## 2. 会議の実施状況

### 代表者会議

会議の名称	平成30年度 第1回子ども・若者支援地域協議会代表者会議	
開催日時	平成31年1月28日(月)	14時00分から15時30分まで
開催場所	枚方市役所別館 特別会議室	
出席者	枚方公共職業安定所 大阪府中央子ども家庭センター 大阪府立精神医療センター (一社)枚方市医師会 枚方市民生委員児童委員協議会 NPO法人枚方人権まちづくり協会 枚方市青少年育成指導委員連絡協議会 枚方警察署 枚方市青少年問題協議会 大阪府青少年・地域安全室 青少年課	商工振興課 保健所保健予防課 保健所保健センター 福祉総務課 生活福祉室 障害福祉室 子ども青少年政策課 児童生徒支援室 (一社)ステップフォワード 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会 子ども総合相談センター 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局)
<p>&lt;内容&gt;</p> <p>事務局より、子ども・若者支援地域協議会および代表者会議についての説明を行い、各機関の紹介を実施。全体研修として、大阪府より、子ども若者支援の仕組みづくりについてお話しいただいた。実務者会議の取り組みについて報告を行った。</p>		



### 実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）

会議の名称	平成30年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 <第1回全体会議>	
開催日時	平成30年 4月19日(木) 14時00分から16時00分まで	
開催場所	メセナひらかた会館 4階研修室	
出席者	大阪府中央子ども家庭センター:1人 大阪精神医療センター:2人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 北河内地域若者サポートステーション:1人 枚方市障害者就業・生活支援センター:1人 (特活)ひらかた市民活動支援センター:1人 LITALICO ワークス枚方:1人 長尾谷高校:1人 ECC 学園高等学校:1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人	(株)京阪毎日舎:1人 保健所保健予防課:2人 保健所保健センター:1人 生活福祉室:4人 障害福祉室:1人 子ども青少年政策課:3人 児童生徒支援室:1人 子ども総合相談センター:2人 家庭児童相談担当:1人 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):6人 計 34人
<内容> ・ 参加機関より、自己紹介と、それぞれの機関の役割や特徴、近況について紹介。 ・ 事務局より、枚方市子ども・若者支援地域協議会について説明。		

会議の名称	平成30年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 <第3回 全体会議>	
開催日時	平成30年 8月23日(木) 14時00分から16時00分まで	
開催場所	メセナひらかた会館 4階研修室	
出席者	枚方公共職業安定所:1人 大阪精神医療センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 NPO 法人枚方人権まちづくり協会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会:1人 北河内地域若者サポートステーション:2人 LITALICO ワークス枚方:1人 大手前高校:1人 長尾谷高校:1人 あおい教育支援グループ:1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人	(株)京阪毎日舎:1人 保健所保健予防課:2人 保健所保健センター:1人 生活福祉室:2人 障害福祉室:1人 子ども青少年政策課:2人 児童生徒支援室:1人 子ども総合相談センター:1人 家庭児童相談担当:1人 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):6人 計 31人
<内容> ・ 大阪府教育庁教育センター教育相談室より、高校生の教育相談の実践について紹介。 ・ 大手前高等学校定時制課程より、高等学校での子どもの姿や支援の取り組みについて紹介。		

会議の名称	平成30年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 <第4回 全体会議>	
開催日時	平成30年10月18日(木) 14時00分から16時00分まで	
開催場所	メセナひらかた会館 4階研修室	
出席者	枚方公共職業安定所:2人 大阪府中央子ども家庭センター:1人 大阪精神医療センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 NPO 法人枚方人権まちづくり協会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 北河内地域若者サポートステーション:1人 枚方市障害者就業・生活支援センター:1人 LITALICO ワークス枚方:1人 長尾谷高校:1人 寝屋川高校:1人 ECC 学園高等学校:1人	枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 (株)京阪毎日舎:1人 保健所保健予防課:2人 保健所保健センター:1人 生活福祉室:3人 障害福祉室:1人 子ども青少年政策課:2人 枚方公園青少年センター:1人 児童生徒支援室:1人 子ども総合相談センター 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):6人 計 30人
<内容>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 枚方市内の就労相談窓口について、枚方公共職業安定所、枚方市障害者就業・生活支援センター、北河内地域若者サポートステーション、枚方市地域就労支援センターより紹介。</li> <li>・ 各相談窓口をまとめた一覧を参加機関で確認し、質問や意見交換を行った。</li> </ul>		

会議の名称	平成30年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 <第5回 全体会議 ケースカンファレンス>	
開催日時	平成30年12月20日(木) 14時00分から16時00分まで	
開催場所	メセナひらかた会館 4階研修室	
出席者	枚方公共職業安定所:1人 大阪府中央子ども家庭センター:1人 大阪精神医療センター:2人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 NPO 法人枚方人権まちづくり協会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 (一社)ステップフォワード:1人 北河内地域若者サポートステーション:1人 枚方市障害者就業・生活支援センター:1人 LITALICO ワークス枚方:1人 訪問看護ステーション デューン京阪:1人 長尾谷高校:1人 ECC 学園高等学校:1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人	(株)京阪毎日舎:1人 保健所保健予防課:2人 保健所保健センター:1人 生活福祉室:3人 障害福祉室:1人 子ども青少年政策課:2人 枚方公園青少年センター:1人 児童生徒支援室:1人 子ども総合相談センター :2人 家庭児童相談担当 :1人 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):5人 アドバイザーとして(特活)クラウドナイン:小林氏 計 36人
<内容>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひきこもり等子ども・若者相談支援センターより、事例提供をし、4つのグループに分かれて検討、全体で共有。最後に、アドバイザーの小林さんから助言をいただいた。</li> </ul>		

会議の名称	平成30年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 <第6回 全体会議>	
開催日時	平成31年2月21日(木) 14時00分から16時00分まで	
開催場所	メセナひらかた会館 4階研修室	
出席者	枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 NPO 法人つばさの会大阪:2人 イシス大阪家族会:1人 登校拒否を克服する会・北河内交流会:1人 みんなでつくる学校とれぶりんか:1人 枚方公共職業安定所:1人 大阪府中央子ども家庭センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 NPO 法人枚方人権まちづくり協会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 北河内地域若者サポートステーション:1人 訪問看護ステーション デューン京阪:1人	大手前高校:1人 ECC 学園高等学校:1人 (株)京阪毎日舎:1人 保健所保健予防課:1人 生活福祉室:3人 子ども青少年政策課:2人 子ども総合相談センター 家庭児童相談担当 :1人 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):6人 大分市議会:1人 大阪府中小企業家同友会:3人 計 33 人
<内容> ・ 枚方市内の5団体で構成している家族会連絡会についての紹介。各団体から活動内容を紹介してもらう。 ・ 参加機関より質問、意見交換を行う。		



資料

# ひらぽう



第21報 (平成30年4月)



4月になりました。以前、相談員をやっていた T です。皆様方つつがなくお過ごしでしょうか。

いつぞや、職場の朝礼で、職員回り持ちでやっている「今日の一言」で、職員のひとりが「四月は残酷極まる月だ」という詩の一節を挙げ、入学や就職など人生の節目が4月に多く訪れ、その順応に苦しむ人も多いことを話していました。もともと、詩の作者 T. S. エリオットは、イギリス人で、新学期は9月からなのですが…。イギリスの4月は、関西の3月、北海道の4月あたりの気候でしょうか。だから「リラの花を死んだ土から生み出し」たり「春の雨で鈍重な草根をふるい起こ」したりします（いずれも西脇順三郎訳）。

少年の頃、今で言うスクールカーストであまり上位でなかった私も、入学時やクラス替えのたびに新しく変わろうとして、早々に現実に気づかされることを繰り返していました。まあ、人間というものは、そう簡単には変わらないということです。それが、少年や若者であってもね。運動神経など最初から無いものや社交性や活発な自分などそのときに無いものを持ってこようとしてもそりゃ無理で、挫折を味合うのがおちです。

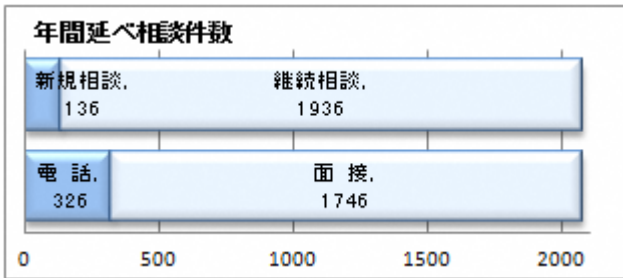
そのような私ですが、この4月にまた挫折するかも知れないことをやっています。長年勤めた市役所を定年1年残して辞め、精神障害者を中心に支援しているNPOで働くこととしました。動機は色々ですが、直接には、イタリアで精神科病院廃絶に努めたフランコ・バザーリア達を描いた映画『むかしMattoの町があった』を昨夏観たことでしょう。1982年に市役所に入職し、仕事で精神病患者（今で言えば精神障害者）の人々と出会い、一方でイタリアでは精神科病院を廃止したということを知り（1978年に世界初の精神科病院廃絶法である通称バザーリア法が成立）、日本でもそのように動いていくのだと思っていました。当時、精神医療の関係者の研修会に仕事で参加して、そのときのテーマが病院内の処遇についてであったことから、若造ながらわざわざ挙手して「何をぬるいことを議論しているのか」みたいなことを発言し、後日そのことを聞いた上司から叱責されたりしていました。そんなことを憶い出し、「俺はこういうことをやりたかったのかな」と考えるに至りました。ちなみに日本では、長期入院患者は以前よりも減ったものの、精神科病院は一向に減らず、今も世界に冠たる精神科病院大国です。

転職の結果、収入は大きく下がります。まあ、このまま居てもあと1年したら定年で、どうせ収入は下がるのだからと納得することにしていきます。とれぶりんかのNさんやステップフォワードのSさんなどの影響を受けてしまったのかもしれない。

とにかく、ネットワーク会議を立ち上げて6年、相談支援を始めて5年、多くの皆様にお世話になりました。私としてもとても実り多い日々だったと思っています。ありがとうございます。ただ、転職後も職場は枚方市内で、皆様にお会いすることも頻繁にあることと思います。見かけたら声をかけてやってください。今後ともよろしくお祈りします。

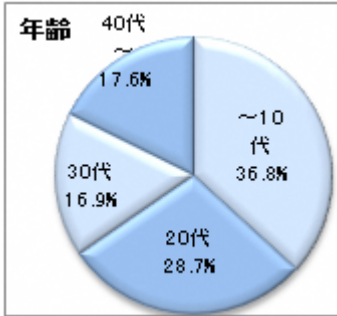
まずはじっくりお話をお聴かせください

📞平成 29 年度の相談状況のご報告📞

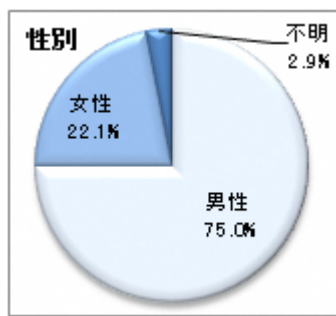


←新規相談が 136 件、継続相談が延べ 1936 件、合計延べ相談件数は 2072 件でした（昨年度の合計延べ相談件数は 1548 件）。1 回で適した情報提供をさせてもらう場合もありますが、多くは時間をかけながら継続した相談を重ねています。

～新規相談（136 件）の内訳～

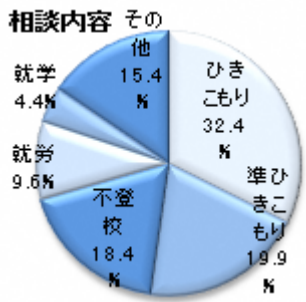


←ご本人の年齢層は、10代20代が多いですが、幅広くご相談をお受けしています。40代以上の方のご相談も一定数あります。

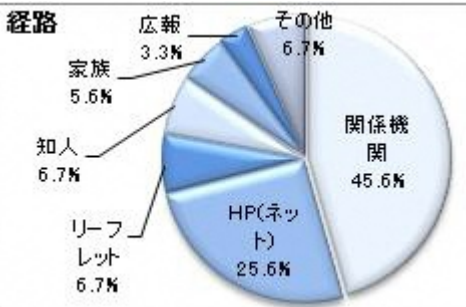
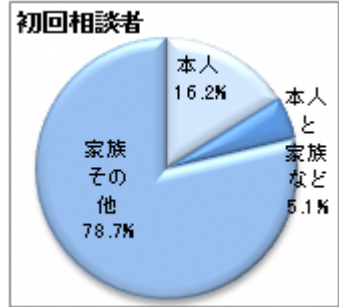


←男性のご相談が7割と多いですが、昨年度は4割が女性のご相談であったことから、潜在的にニーズはあると感じています。

→相談内容は様々です。複数の背景を含んでいることも多いです。（グラフは主な相談ひとつの集計です）



→初回の相談者は8割近くが、ご家族からの相談です。ご家族との相談を通して、ご本人とつながっていくことを一緒に考えていきます。



←ひきこもり等子ども・若者相談支援センターを知ったきっかけは、関係機関からの紹介が約半数です。ネットワークのつながりが進んでいることを実感しています。ホームページやリーフレットなども窓口を知るきっかけになっています。今後も、必要な人に必要な情報を届けられるように工夫していきます。

（新規相談の内、聴き取りを行った分のみの集計です）

**最近のひらほ**

陶芸はじめました！

粘土をこね、思い思いの形につくりました。写真は、素焼きをし、釉薬を塗った段階です ⇒ 本焼き後、どんな色が表れるのか楽しみです。



電気窯です

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

# ひらぼう



第22報 (平成30年6月)



## 新しい相談員を 紹介します！

相談員の M です。昨年度は週1回金曜日のみ来ておりましたが、4月からは週4日こちらにおります。ひらぼでも皆さんとお会いする機会ができました。

4月までは他のところで仕事していて4月からこちらに来る日数が増えたことは私にとって大きな変化でした。この変化は私自身が望んだ変化だったので喜ばしいことであるのは間違いないのですが、仕事環境の変化は多少なりとも生活自体に影響するので、新たな生活に適応する必要が生まれました。やや大げさな表現をすると、仕事の変化が私の生き方の変化をもたらしたということなのだと思います。

変化には短期間での変化もあれば長い時間をかけて緩やかに変化していくこともあるでしょう。私の仕事の変化はどちらかと言うと短期間での変化でした。3月までは別の職場に行っていて4月からこちらに来ることになり、毎朝家から向かう場所が変わりました。利用する交通機関も変わり、家を出る時間や移動にかかる時間も変わりました。

仕事の変化ほどではなくても、毎日の生活の中では大小さまざまな変化が誰にでも起こっているものだと思います。何も変化がない生活のように思っている、少なくとも身体的には歳を重ねることでの変化が起こっていますし、精神的にも毎日気分の違いがあるものです。そのような小さな変化の積み重ねによって緩やかに変化していくこともあるでしょう。

短期間での変化の場合、新しい環境に適応するためある程度ストレスがかかりやすくなることもあります。新しい環境ではそれまでのやり方ではうまくいかないこともあるため、新しいやり方を短期間で身に付ける必要がありその分ストレスがかかりやすくなります。

時間をかけた緩やかな変化の場合は、小さな変化に対する小さなストレスはあるかもしれませんが、短期間での変化のストレスよりも弱いストレスで済みそうです。

ストレスの受け止め方は人それぞれなので、早い変化を求める人であればある程度のストレスは覚悟の上で短期間での変化を考えるでしょうし、強いストレスを避けたいと考える人であれば少しずつの変化を積み重ねることで緩やかに変化していくことを目指すということもあるでしょう。私の仕事の変化の場合は前者でしたが、避けられるなら強いストレスは避けたいという気持ちも私の中にはあります。

“こういう自分になりたい”という目標を目指して、現実状況とも折り合いをつけながら、そのときの自分に合った変化の仕方ですんでいくことが大事なのだなあと思います。



## 平成 30 年度・家族の会の予定

今年度は、調理や手芸などほっこりした時間をすごしてもらうプログラムを多く予定しています。ちょっと気になるトピックについても学べる 1 年になればと思っています。

日にち(予定)	テーマ(予定)
4月20日(金)	ひきこもり等子ども・若者相談支援センターは、こんなことしています
5月18日(金)	おいしく食べよう！ 調理実習その①
6月15日(金)	みんなで手芸① ーカラフルアクリルたわし作りー
7月20日(金)	サポートステーションは、こんなことをしています
9月21日(金)	おいしく食べよう！ 調理実習その②
10月19日(金)	上手に伝えるコツ ーアサーションを学ぶー
11月16日(金)	みんなで手芸② ークリスマスリース作りー
12月21日(金)	紹介しよう！ 参考になった本
1月18日(金)	精神疾患の基礎知識【枚方保健所から講師をお招きして】
2月15日(金)	生活を支えるお金のこと一年金や生活保護についてー
3月15日(金)	墨彩画にチャレンジ！

- 毎月第 3 金曜日が基本日程です（8 月は休み）。
- 時間は 14 時～16 時。場所はラポールひらかたです。
- ひきこもり等子ども・若者相談支援センターに、相談に来られているご家族を対象に、同じ立場で安心して話せる場づくりをしています。

### 最近の居場所支援ひらぼ

田植え体験しました！

市民のご協力をいただき、  
田植えに挑戦しました。

田んぼにいる虫を発見したり、苦戦しながら苗を植えたり、普段なかなか触れられない自然の中で、最後は疲労感とともに、すっきりとした気持ちになりました。



### 子ども・若者育成計画を改定しました。

社会の情勢の変化と、枚方市での 5 年間の取り組みの結果、みえてきた課題等を踏まえて、「枚方市子ども若者育成計画～ひきこもり等の子ども・若者の自立に向けて～」を改定しました。市ホームページにも掲載しています。



イラスト：MISAKI.T

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となと** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

# ひらぼう



第23報 (平成30年8月)



## 7月のひらぼう

7月に開催した中から「アルミホイル球作り」についてご紹介します。

アルミホイル球は、丸めたアルミホイルを磨いてピカピカの球にするというものです。製作するのにある程度時間がかかることが予想されたため、二回に分けて実施しました。一回目は、アルミホイルを丸めてかなづちなどで叩いて形を整える作業、二回目はそれをヤスリや磨き粉で磨いてピカピカにする作業でした。



アルミホイルを一度に大量に使うことは普段なかなかないので、思い切って一気にアルミホイルを引き出して丸めました。どこか“やってはいけないこと”をしているようで罪悪感も少しありつつ普段はできないことを思い切りやっているという気持ちよさがありました。丸めた後はひたすらかなづちで叩くのですが、今回は事務所横の部屋での活動だったのであまり大きな音が出ないようにみんな気を遣いながら作業をしていました。

磨き作業は、ただひたすら磨き続けました。磨いて出たアルミホイルの粉で軍手が黒くなるくらいに磨いたのですが、残念ながら思い描いていたほどにはピカピカになりませんでした…。

今回の反省点としては、アルミホイルを丸める際にテキトーに丸めたため叩き作業で十分に叩ききれなかったかなと思いました。次に挑戦する機会があれば、丸める段階から丁寧に丸めてピカピカに仕上げられるといいなと思っています。

## 趣味を一方的に紹介するためのコーナー

- ・いきなりですがタイトル通りです。
- ・これから「ひらぼう」でちょこちょこやる、かも？
- ・スタッフ、利用者各々の趣味を紹介していきます。
- ・「凝った趣味」から「ちょっとした好み」まで。
- ・第1回は、スタッフNの趣味「人形制作」です。
- ・美しくあやしい人形の世界…ぜひ！



☆制作第1号作品です☆

☆見ないで描いてみよう☆

～お題：バカボンのパパ～



☆スタッフ画伯の作品☆

## ☆子ども・若者支援のための市民連続講座を開催します☆

ひきこもり等の子ども・若者の現状と自立に向けた取り組みについて、市民のみなさんにより知っていただく機会として連続講座を開催します。

### 第1回 10月13日(土)

寮生活を通して将来が見えてくるひきこもり支援  
～本日の若者「雨時々曇り一時晴れ」～  
(特非)クラウドナイン理事長 小林将元さん

長くひきこもり等の若者支援に携わり、現在は、寮生活に医療や就労継続B型事業所を利用した支援のあり方で、若者の自立への一歩を支えられておられる講師より、関わりの中からみえてくる今の若者の姿やその想いをお話しいたします。

枚方にて小中学生～高校生、高校卒業後まで継続的な支援を行うあおい教育支援グループ。不登校や発達障害などの相談に関わる講師より、子どもたち一人ひとりのゴールにあわせたサポートの実際をお話しいたします。

### 第2回 10月20日(土)

不登校や発達障害への具体的アプローチ  
～子どもたちが動き出すまでのサポート～  
あおい教育支援グループ代表 伊藤伸孝さん

### 第3回 11月10日(土)

ひきこもりの子を持つ家族の生活設計  
ファイナンシャルプランナー 畠中雅子さん

「高齢化するひきこもりのサバイバルライフプラン 親亡き後も生きのびるために」の著者でもある講師に、ファイナンシャルプランナーの立場から、働けない子どもが生きていくための方法やそのために家族として準備できることをお話しいたします。

生きづらさ五冠王(不登校・家族との確執・ひきこもり・発達障害・ワーキングプア)として、ピア(仲間)の視点で、様々な支援に取り組んでおられる講師より、生きづらさを抱える子ども、若者とその家族へ、メッセージを届けていただきます。

### 第4回 11月30日(金)

家族に伝えたいこと、知ってほしいこと  
～ひきこもりの若者と家族も孤立しないために～  
ひきこもりピアサポーター 大橋史信さん

場所：ラポールひらかた 3階 研修室1

時間：14時～16時

定員：各50名 申し込みは、子ども総合相談センター・となとなまで！

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター(枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内)

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

## ひらぽう



第24報（平成30年10月）



## — 今月のコラム —

こんにちは。ひらぽに通い始めて2年と少しになる、女性の利用者です。

学校を出てから20年以上も一度も仕事をした事のない私。同世代の人と比べて、ものすごい経験値が低いのです。「これではいかん」と最近思い始め、社会に出て一人でやっていく為に、今までやった事のない挑戦をしてみようと思いました。

それは、女性一人で入りにくい店で外食する事です。例えば、牛丼屋さんやラーメン屋さんとか、女性一人だと浮くような気がして行けなかったのです。でも、牛丼さんはお金のない私には、とっても魅力的で気になってたのです。と、言う事で勇気をふりしぼって先日行ってきました。

入店すると意外に女性がいました。一瞬ほっとしましたが、私、店員に声をかけるのが苦手なのです。なんか周りに「場違いな人が来てる」と思われてるんじゃないか、とか思ったり「牛丼、並盛」って言うのがなんか恥ずかしいのです。その為、焦りもあり、声もかけられず大汗が出てきて、ますます怪しい人に見える私。すると、隣のお客さんが「牛丼、並盛」と注文したので、私も便乗して「わ、私も！」と一緒に来た人のような注文をし、逆に恥ずかしさ増大・・・「早く帰りたい」と思いつつ出された牛丼を食べると「お、美味しいやん・・・今度はぜひ『つゆだくで』食べたい」

次回こそ、恥ずかしがらず「つゆだくで」注文するぞと、決意しつつ、ふと見渡すと、誰も私の事など気にせず、黙々とつつむいて食べているお客さん。私一人が気にしているだけなのかも知れません。少し成長したかな？と思う1日でした。

いつか、一人で立ち飲み屋さんに行けるようになるのが目標です。

## 改めて紹介するコーナー 「活動場所」

主な活動場所である「枚方公園青少年センター」内の「和室」。横にもなれる広々とした空間、やっぱり畳って落ち着きますよね。（利用者：和室大好きっ子さん）



## ～ 私が好きなアニメキャラ ～

うずまきナルト（NARUTOーナルトー）  
必殺技がカッコイイ！

うちはサスケ（NARUTOーナルトー）  
呪印の力が強くて良かった！

モンキー・D・ルフィ（ONE PIECE）  
仲間がカッコイイ！

（利用者 T）

この面の記事は、ひらぽ利用者が記事を企画・執筆しました。



## 「ひらぼう」リニューアル！

隔月で発行してきた「ひらぼう」もおかげさまで24報となりました。ここらでちょっと趣向を変えてみたいと思い、今号よりリニューアルいたしました。

どこが変わったのか？ぱっと見ではわかりづらいかもしれませんが…実は今号から1面の記事を「ひらぼ」利用者で制作しています！！ひらぼうの活動報告やちょっとしたコラム、果ては「ひらぼ」と全く関係ない自分語りなど…まだ手探り状態ですが、より充実した記事を「ひらぼ」らしくゆる～く掲載していければと思います。

まずははじめの「いっぽ」から。これからもよろしくお祈りします。

## クリスマスリース販売します！

11月17日(土)メセナひらかた会館で開催されるウィルフェスタ。そちらに「ひらぼ」で出店をします。みんなで作ったクリスマスリースを販売予定です。

ぜひご来場くださいませ☆

## 市民連続講座

子ども総合相談センターでは、子ども・若者支援のための市民連続講座を全4回の予定で開催しています。

10月13日(土)に小林将元さん(NPO法人クラウドナイン理事長)を講師としてお招きして第一回を開催しました。入寮施設での支援のなかで、さまざまな活動(農業、養鶏、博物館のお土産販売、ヤフオクで大金を稼ぐ!?なんて話も)を通して若者が元気になっていくお話が興味深かったです。小林さんの熱い気持ちが伝わってくる内容でした。

## 「家族会」報告

9月の家族の会は調理実習会でスムージーとホットサンドを作りました。4名の参加でしたが、みなさん流石の家事力!準備からあとかたづけまでぱぱぱ～とあっという間でした。このへんは「ひらぼ」の調理実習とは大きな差ですね。勉強になります…。

10月の家族会は「アサーション・トレーニング」。11月は「クリスマスリース作り」です。

ぜひ、お気軽にご参加ください。

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター(枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内)

電話: 050-7102-3228 / 相談専用電話: 072-843-2255 / FAX: 072-846-7952



# ひらぼう



第25報 (平成30年12月)

## ウィルフェスタ 感想記

11月17日、ひらぼは「ウィルフェスタ」(主催:男女共生フロア・ウィル)という催しに参加しました。そこで、事前に制作したクリスマスリースの販売を行いました！

これまで「接客・販売」や「材料の採取から始める本格“派”クラフト」をひらぼとして別々に行うことはありましたが、今回はその両方。かつ納期や原価率など実際の商売に(より)近い形での試みとなりました。あわせて下準備(リース制作)の期間も長く設定され、非常に濃密な期間になりました。

『足りない人手、度重なる仕様変更、なお足りない人手、振るわない進捗、そして人手、一向に上がらない効率、望まれる救世主、そして迎える Dead Line…彼らの運命やいかに?!』

…なんだか一昔前の番組予告風になりましたが、紆余曲折ありながらもひとまず成功の形に収めることができました。実際のところはウィルの方たちが用意してくださったリースやクリスマスツリー(小物インテリア)、匿名希望の方からは手づくり鞆の提供という「救世主」の降臨によって自分たちだけでは厳しかったであろうイベントをなんとか乗り切った…といった具合です。この場を借りて改めてお礼申し上げたいと思います。



以上、少し長くなりましたが“リース”のように“円満”には事が運ばなかった話と、人の“輪”を感じるイベントになったという話でした。

(利用者 「リースは丸いのでカロリーゼロ」)

クリスマスリースを作って販売すると決まった当時、僕に販売できるようなリースを作るなんて出来るのだろうかと不安でいっぱいでした。中学生のときまで、授業で制作系の課題が出るといつも遅れてしまい、居残りでやっと仕上げたということの連続だったからです。

リースの値段や販売個数がなかなか決まらずにデザインを考えるのもとても難しかったのですがコーディネーター、サポフレさんがいろいろ助けてくれたおかげで制作が苦手だった僕が複数のリースを完成できたということが嬉しかったし、最終的には完売という結果を得られて大満足でした！

今回のこのイベントで、あらゆるものを得ることができた、そんな気がします。

でも来年はもう少し余裕が欲しいかな…。(利用者 T)



被り物しながら販売が  
んばりました。

## ～ひらぼ活動紹介～

こんにちは。ひらぼを利用している一人です。ひらぼで恒例の「ゲーム大会」について紹介します。

ひらぼではいろんな人が集まってカードゲームをしたり、TVゲームなどをするゲーム大会があります。毎月最終金曜日に行っています。

自分のお気に入りのボードゲームは「ドミニオン」です。「デュエルマスターズ」「遊戯王」のようにカードで戦うゲームです。その2つとの大きな違いは、自分でゼロからデッキを作りながら戦うゲームだということです。

自分は最初はルールがわからなくておもしろくなかったけれど、みんなからルールを教えてもらえてからは楽しくなりました。今ではひらぼが終わったあとも何人かと残ってやっています。

(利用者 Y)



プレイヤーは「自国拡大を目指す領主」。民兵で他国を搾取したり、祝祭ばかり開催する放蕩ものを演じたり、ひたすら木こりを集めて人にやさしい自然派国家を目指したり…そういったロールプレイができるのもこのゲームの魅力です。

ちなみに僕は民兵や破壊工作カードを集めて使いまくる「悪の枢軸国」プレイが好きです。(相談員 N)

## ～家族の会～

ひらぼ利用者が、リース作りに四苦八苦している、まさにその時、「家族の会」でも、リース作りにいそしんでいました。これが同じリース作りかと思う程、午後のひととき、優雅に…。「家族の会」は、毎月第3金曜日にラポールひらかたで開催しています。利用者の人たちにとって、ひらぼが居場所であるように、家族にとっては「家族の会」が居心地の良い居場所になれば良いなと願っています。

それにしても、居場所を標榜したいなら「家族の会」というのは、なんとも垢抜けないですね。来年は、「ひらぼ」に匹敵するような素敵な名前をつけたいところです。(スタッフ H)

## ～今後のひらぼ～

12月のひらぼの目玉イベントは「トニオのフルコース再現」。ジョジョ第4部で登場する“あの”トニオです。流石に「南極の雪解け水」は用意できませんが、肩が抉れるくらいの垢が出せるようにがんばります笑！！

## ひとりひとりが自分らしく…。

ひきこもり、ニート、不登校に関する相談をお受けしています。おおむね15歳から39歳くらいのご本人、ご家族、関係者の方が対象です。

## ～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952



# ひらぽう



第26報 (平成31年2月)

## ゲーム大会 感想

2019年初ひらぽは、ホールを貸し切ったのTVゲーム大会を敢行しました！  
プロジェクターと屋外向けスピーカーから繰り出される大画面&大音響で気分はさながら  
イベント会場ようです！以上、現場からお送りしました！

(利用者「スタジオにお返しします」さん)



## ～ 趣味紹介 ～

趣味で集めているトミカのほんの一部をご紹介します。  
いろいろ物置から出しているうちに悩み考え、結果3時間もかけて撮ってしまいました。  
家には数百台はあるので片付けがたいへんです。  
皆さんも収集はほどほどにしましょう w

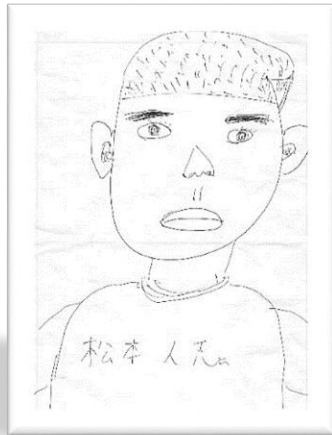
(利用者「利用者のとある男性」さん)





## 見ないで描いてみよう！

お題『ダウンタウン』



### ～家族の会～

1月の家族の会は、墨彩画を描く企画。墨彩画とは、水墨画に色のついたもの。地味な集まりだなあと感じていたのだが、今年度最多人数の6人が集まった。少し神妙に、ものすごく久しぶりに墨を磨る。しゃわしゃわとしたなんとも言えない音と、墨の香りが部屋を包む。

いよいよ、実際に描いてみる。これがそんなに難しくなくて、絵心ゼロの私が描いても、それなりの竹に見えてくるから不思議。先生はゆっくり見て回られながら、「そうそう、その調子」とか「お上手です」とか褒めてくださる。最後に人に褒められたのって、いつだっけ。褒められると気持ちよい。私も人を褒められる人になろうと思う。なんだか心にも春が来たような1日になった。(Hさん)



### ～今後のひらば～

3月は季節感のあるイベントということで梅でも見にいけたらなあと思ってます。桜の木の下には死体が埋まっているそうですが、梅の花の下には何があるんでしょうね。梅干？

### ひとりひとりが自分らしく…。

ひきこもり、ニート、不登校に関する相談をお受けしています。おおむね15歳から39歳くらいのご本人、ご家族、関係者の方が対象です。

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952



# 一ひきこもりひきこもりが自分らしくー 子ども・若者支援のための市民連続講座

第1回 10月13日(土) 14:00~16:00

寮生活を通して将来が見えてくるひきこもり支援  
ー本日の若者「雨時々曇り一時晴れ」ー

小林 将元 さん(特定非営利活動法人クラウドナイン理事長)

長くひきこもり等の若者支援に携わり、現在は、寮生活に医療や就労継続B型事業所を利用した支援のあり方で、若者の自立への一步を支えられておられる講師より、関わりの中から見えてくる今の若者の姿やその想いをお話しいたします。

第2回 10月20日(土) 14:00~16:00

不登校や発達障害への具体的アプローチ  
ー子どもたちが動き出すまでのサポートー

伊藤 伸孝 さん(あおい教育支援グループ代表)

枚方にて小中学生~高校生、高校卒業後まで継続的な支援を行うあおい教育支援グループ。不登校や発達障害などの相談に関わる講師より、子どもたち一人ひとりのゴールにあわせたサポートの実際をお話しいたします。

第3回 11月10日(土) 14:00~16:00

ひきこもりの子を持つ家族の生活設計

畠中 雅子さん(ファイナンシャルプランナー)

「高齢化するひきこもりのサバイバルライフプラン 親亡き後も生きのびるために」の著者でもある講師に、ファイナンシャルプランナーの立場から、働けない子どもが生きていくための方法やそのために家族として準備できることをお話しいたします。

第4回 11月30日(金) 14:00~16:00

家族に伝えたいこと、知って欲しいこと

ーひきこもりの若者も家族も孤立しないためにー

大橋 史信 さん(ひきこもりピアサポーター)

生きづらさ五冠王(不登校・家族との確執・ひきこもり・発達障害・ワーキングプア)として、ピア(仲間)の視点で、様々な支援に取り組んでおられる講師より、生きづらさを抱える子ども、若者とその家族へ、メッセージを届けていただきます。

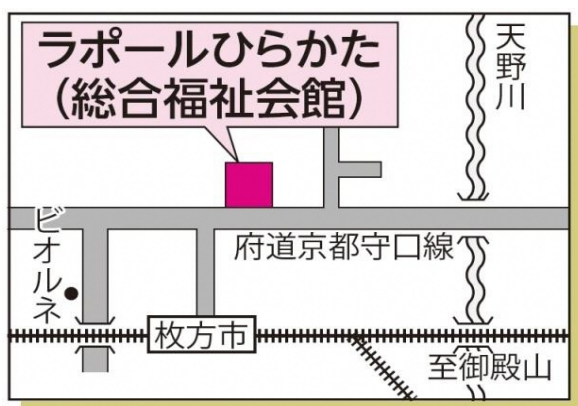
## ☆子ども・若者支援のための市民連続講座☆

枚方市では、「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」にて、ひきこもり等のご本人・ご家族からの相談をお受けしています。

ひきこもり等の子ども・若者の現状と自立に向けた取り組みについて、市民の皆様により知っていただく機会として、連続講座を開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【場所】ラポールひらかた 3階 研修室 1



【定員】各 **50** 人

【申し込み】

☆9月3日(月)10:00~

いずれも市役所分室(サンプラザ3号館)4階、子ども総合相談センターへ。

電話・電子メール・ファックス可。

住所・氏名・電話番号・参加希望日を明記のこと。

※手話通訳をご希望の方は、各講座の2週間前までにお申し込みください。

●ひきこもり等子ども・若者  
相談支援センター●

ひきこもり、ニート、不登校に関する相談をお受けして、継続して対応方法や支援を一緒に考えていきます。必要に応じて、より適した支援機関等におつなぎします。次のステップとしての居場所支援や家族の会も行っています。

相談無料、要予約。

月~金 9:00~17:30

枚方市 子ども青少年部 子ども総合相談センター

となとな

(ひきこもり等子ども・若者相談支援センター)

枚方市岡東町 12-3-410 サンプラザ3号館4階

TEL: 050-7102-3228 / FAX: 072-846-7952

E-Mail: kodomocenter@city.hirakata.osaka.jp

ひとりひとりのペースで一歩ずつ…。

ひきこもり、ニート、不登校に関する相談をお受けしています。

おおむね 15 歳から 39 歳くらいのご本人とご家族、関係者の方が対象です。

少しずつ社会と関わるきっかけがほしい

自立って言われても何をしたらいい？

学校に行きにくい

これからの生活が不安

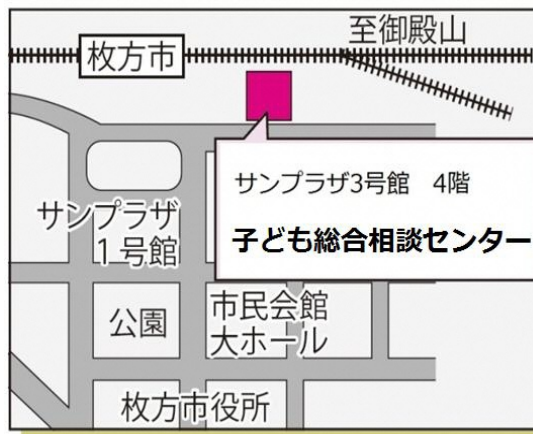
働きたいけど  
どうすればいいかわからない

外に出るのがこわい

対人関係が苦手

などなど。

相談は無料です。  
秘密は厳守します。  
安心してご相談ください。



枚方市  
ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

相談電話：072-843-2255

FAX：072-846-7952

〒573-0032 枚方市岡東町 12-3-410

ひらかたサンプルプラザ3号館4階

(京阪電車 枚方市駅 東改札口と連絡)

子ども総合相談センター「ととな」内

FAX：072-846-7952

枚方市

【資料3】

ひきこもり等  
子ども・若者  
相談支援センター

## 相談

電話相談と面接相談があります。  
面接相談は事前の予約が必要です。

○これまでの経過や現状についてお聴きし、  
今後のことを一緒に考えます。

○相談者に適した相談窓口や利用できるサー  
ビスの情報提供をし、おつなぎします。

○定期的に来ていただく継続相談も可能です。

○必要に応じて訪問支援もおこないます。

相談電話

072-843-2255

受付時間

9:00 ~ 17:30 (土日祝のぞく)

## 居場所

### 居場所支援事業「ひらぽ」

「ひらぽ」は悩みをかかえた若者がスタッフ  
と一緒にのんびりと過ごす居場所です。

○集団のなかでの雑談、ゲームなどの遊びや調理  
といったイベント行事を体験します。

○経験を広げ、元気と自信をつけてもらうことが  
目的です。

※利用には事前の面接相談が必要です。

“さんぽ感覚で気楽に”  
“次のいっぽにつなげる”  
それが「ひらぽ」です。



## 家族の会

不登校・ひきこもり当事者を支える家族  
のための交流会です。

当所での相談と合わせてご利用ください。

○同じ立場の集まりのなかで気持ちを共有し、  
安心感を得てもらうことが目的です。

○ご家族同士の情報交換や、経験談を聞くこと  
で先の展望のきっかけにさせていただく場でも  
あります。

○家族の会のなかで、専門の講師による講座を  
開くこともあります。

枚方市子ども・若者支援地域協議会設置要綱

平成30年3月30日制定  
枚方市要綱 第28号

(設置)

第1条 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援するため、子ども・若者育成支援推進法（平成21年法律第71号。以下「法」という。）第19条第1項の規定する子ども・若者支援地域協議会として、枚方市子ども・若者支援地域協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所管事項)

第2条 協議会の所管事項（以下「所管事項」という。）は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に係る情報交換及び連絡調整を行うこと。
- (2) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に必要な体制の整備についての検討を行うこと。
- (3) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の具体的支援の内容についての協議を行うこと。
- (4) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に係る調査研究、研修並びに広報及び啓発活動を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 協議会は、次に掲げる機関等に属する者で構成する。

- (1) 枚方市産業文化部商工振興課
- (2) 枚方市保健所保健予防課
- (3) 枚方市保健所保健センター
- (4) 枚方市福祉部福祉総務課
- (5) 枚方市福祉部生活福祉室
- (6) 枚方市福祉部障害福祉室
- (7) 枚方市子ども青少年部子ども青少年政策課
- (8) 枚方市子ども青少年部子ども総合相談センター
- (9) 枚方市教育委員会事務局学校教育部児童生徒支援室
- (10) 枚方公共職業安定所
- (11) 大阪府中央子ども家庭センター
- (12) 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
- (13) 一般社団法人枚方市医師会
- (14) 枚方市民生委員児童委員協議会

- (15) 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
- (16) 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会
- (17) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める機関等  
(子ども・若者支援調整機関)

第4条 法第21条第1項に規定する子ども・若者支援調整機関は、枚方市子ども青少年部子ども総合相談センターとする。

(守秘義務)

第5条 協議会を構成する者及び構成していた者は、正当な理由なしに、当該会議（所管事項の遂行に伴う活動を含む。）を通じて知り得た秘密を漏らしてはならない。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

- 1 この要綱は、制定の日から施行する。
- 2 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議設置要綱（平成24年枚方市要綱第64号）は、廃止する。





ひきこもり等子ども・若者相談支援センター  
枚方市子ども・若者支援地域協議会  
平成30年度の活動報告

令和元年11月発行

枚方市 子ども青少年部

子ども総合相談センター **となとな**

枚方市岡東町12-3-410サンプラザ3号館4階

TEL: 050-7102-3228 (直通)

FAX: 072-846-7952

e-mail: kodomocenter@city.hirakata.osaka.jp

